

ベラルーシ公開情報とりまとめ

(4月1日～4月7日)

2024年4月15日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

●欧州通常戦力条約への参加停止(4月5日)

【内政】

●外国人が宿泊する施設に対する義務の明確化

- ・法律「外国人及び無国籍者のベラルーシにおける法的状況について」の改正によるもの。7月7日以降適用。
- ・現行法では、外国人が宿泊する際、その宿泊施設は3時間以内に警察に届け出る義務がある。
- ・今次改正により、上記義務が法人及び個人にも課されるようになり、1日以上の間滞りする施設について内務省に届け出なければならない。
- ・この義務に違反した場合、20基本単位(800ベラルーシ・ルーブル＝約250米ドル)以下の罰金が科される。また、不法滞りしている外国人に施設を提供した場合も20基本単位以下の罰金が科される。

(4月3日 法律ポータル)

●徴兵に関する法律の改正

- ・法律「国家安全保障の問題について」が改正され、4月7日以降適用される。
- ・今次法改正による変更点は以下のとおり。
- ①兵役対象年齢は17歳以上(以前は16歳以上)
- ②SMSでの徴兵司令部への呼び出し(以前は紙の召集令状)
- ③徴兵逃れに対する罰則として、3年間の自由剥奪刑もしくは自宅軟禁(以前は2年間)。
- ④徴兵を忌避した場合、ベラルーシからの出国が制限される。
- ⑤大統領が国防や国家安全保障の利益を確保するために必要だと判断した場合、判決が出ていない犯罪歴のある者や刑務所に収監されている者も徴兵可能。

(4月3日 法律ポータル)

●4月5日現在の政治犯の数は1,396人

(4月5日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

【軍事・安全保障】

●欧州通常戦力条約への参加停止

- ・4月5日、ルカシェンコ大統領は、欧州通常戦力条約(CFE)の効力を停止する法案を承認。
- ・ベラルーシ大統領府は、本決定がベラルーシのCFEからの脱退を意味するものではないこと、ベラルーシがCFEに関する義務を遵守してきたことを強調するとともに、北大西洋条約機構(NATO)加盟国がCFEの効力の停止を宣言し、同条約を機能停止に追い込んだとして非難。

(4月5日 大統領府)

●ベラルーシから欧州への不法越境の試み

(4月1日～4月7日)

- ・リトアニア国境警備局は少なくとも14人を阻止。
- ・ラトビア国境警備隊は少なくとも199人を阻止。
- ・ポーランド国境警備隊は少なくとも1,692人を阻止。

(4月2日～4月8日 Pozirk)

【治安・犯罪】

●政治的理由で有罪判決を受け収監されている外国人は20人以上

- ・服役中の外国人は、ウクライナ、ポーランド、ロシア、ラトビア、カザフスタン、ウズベキスタンの出身者。

(4月5日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

【経済】

●2023年のロシアからベラルーシへの投資額は51億米ドル(前年比12億米ドル増)

- ・2023年、ベラルーシに投資するロシア企業は52社

増え、2,312 社となった。

・2023 年の両国間の相互貿易は前年比 6.3%増加し、約 530 億米ドルに達した。

・ベラルーシは主に乳製品、肉製品、トラック、乗用車、テレビ、モニター、プロジェクター、トラクター等をロシア市場に輸出。

・ロシアからは主に、石油、天然ガス、鉄類、及びそれらを原料とする製品を輸入。

(4 月 1 日 国家国境委員会、「ゼルカロ(鏡)」)

●ミンスクでの開発事業からの UAE 不動産事業者の撤退

・関係筋によれば、アラブ首長国連邦(UAE)で屈指の不動産事業者であるムハンマド・アルアツバール氏は、現在ミンスクで開発中の物件を売却することで予備的に合意。

・アルアツバール氏は、セルビアにおける再開発事業に関連し、トランプ元米国大統領の娘婿であるジャレット・クシュナー氏との協力につき前向きに発言。クシュナー氏関係筋も、アルアツバール氏がセルビアでの再開発に顧問として関与していた旨発言。

・ルカシェンコ大統領の報道官は、本件が「大統領にとって初耳」であるとしている。

(4 月 7 日 ロイター通信)

【抗議勢力の動き】

●「カリノフスキー連隊」は、ベラルーシ人志願兵 2 人がウクライナでの戦闘で死亡した旨発表

(4 月 7 日 「カリノフスキー連隊」)

【その他】

●リトアニアの滞在許可証を持つベラルーシ人は、過去 1 年間で 29%増加

・リトアニア移民局によれば、3 月末時点で、約 6 万 3,000 人のベラルーシ人がリトアニアに在住。

・一方、リトアニアを訪れるベラルーシ人の増加は以前よりも緩やかになっている。

(4 月 3 日 「ゼルカロ(鏡)」)

●年初以来、国家国境委員会は、無効の旅券・査証等に関する 182 件の問題を登録

・国外に渡航するベラルーシ人で最も多かったのは、印刷の不鮮明、写真が破損した旅券の提示(32 件)。

・ベラルーシに渡航する外国人の中で最も多かったのは、ベラルーシの査証の不携行(98 件)。また、虚偽の文書での入国の試みが 7 件登録された。

・ベラルーシ人、外国人に共通して多く登録されたのは、期限切れ旅券(32 件)及び破損(8 件)であった。

(4 月 4 日 国家国境委員会)

●ベラルーシの離婚率は世界第 6 位

・ベラルーシの離婚率は、1,000 人あたり 3.7 件で、モルディブ、カザフスタン、グアム、ロシア、モルドバに次いで 6 位。

(4 月 7 日 Belsat、「ゼルカロ(鏡)」)

(了)